

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	個別サポート支援 あっぶるきっず		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 21日		～ 令和8年 2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和8年1 月21 日		～ 令和8年 1月30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月16 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を中心とし、一対一の関わりの中で子どもの特性やその日の状態に応じた柔軟な支援ができること。またスタッフ間での連携が密に取れていること。	課題を細分化し、「できた」「わかった」という成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や意欲の向上につなげている。また、職員間で支援内容や子どもの変化を共有し、継続性のある支援を行っている。	職員間の情報共有をより円滑にするため、定期的な振り返りやケース検討を行い、支援方針の共通理解と一貫性のある支援の実施に努めていく。
2	個別支援に加え、祝日イベント等で小集団活動を実施し、個別療育で身につけた力を実践的に活かす機会を設けていること。	小集団活動の内容は、個別療育で取り組んだ、「どうぞ」「ありがとう」のやりとりなどを実践できる取り組みをいれている。また、見通しを立てられるように、活動の流れや役割を事前に分かりやすく伝えている。	今後も職員間で小集団活動の振り返りを行い、支援方法や関わり方について共通理解を深め、次回の支援に反映していく。
3	タブレットを活用し、保護者様が療育中のお子様の様子を確認できる体制を整えていること。	タブレットでの参観が難しい場合でも、支援中の写真や動画を保護者様へ共有し、支援の様子が伝わるように工夫している。また育児や発達への悩みについて相談できる機会があり、保護者の悩みを軽減できるように心がけている。	家庭でも実践できる支援方法をアドバイスしたり、保護者様からの視点もしっかりとお聞きし今後の療育に繋げていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングを実施するための体制はできているが、現時点では実施はできていない。	個別支援を中心とした仕様形態であることや、保護者の生活リズム・就労状況への配慮が必要であることから、日程調整や参加の検討に時間を要し、実施に至っていない。	今後は実施内容や方法を見直し、短時間、小規模で実施可能な形へと整理するとともに、職員間での役割を明確化することで、段階的な実施を目指す。
2	保護者会同士の交流支援や、家族が参加できる研修会や情報提供の場が十分に確保できていないこと。	個別支援を主とした仕様形態であることから、保護者同士の交流の場を設けることができていない。	今後は、祝日イベント等で保護者会を開催し、保護者同士が関わりを持てる機会を検討する。また、引き続き保護者に寄り添った対応に努める。
3	駐車場が事業所からやや離れた場所にあること。 (移動の際には子どもたちと交通ルールを確認しながら歩く取り組みもやっている)	駐車場と事務所が隣接していない。	保護者の方が車でお迎えに来られる際には、事前に帰る準備などしてスムーズに出られるようにする。また、近隣の住民の方々からの理解を得られるよう努めていく。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名		個別サポート支援 あっぶるきっず		公表日		令和8年2月23日		
		利用児童数 24 (対象者数 : 23)		回収数 22				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1			こどもたちが活動できるスペースは確保できている。活動内容によって配慮されていると感じる。	利用児童数を踏まえ、十分な活動スペースを確保できるように努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			2	様々なスタッフの方と関わることができ、適切に配慮されている。	法令を遵守し、適切な運営を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	4	1	6	個室の部屋があり、障がい特性に配慮した工夫がされている。	個室を活用した個別対応を継続し、職員間で支援方法を共有しながら、より適切な環境配慮を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1		1		毎日清掃や消毒を行っています。活動に集中できるように、環境づくりを行っています。今後もこども達が過ごしやすい環境づくりに努めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1		今後も特性に応じた支援を行ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1		支援プログラムを作成し、ホームページに掲載して公表しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				こどもと保護者のニーズや課題を十分に理解し、客観的に分析した上で計画されていると思います。	今後もこども及び保護者様のニーズや課題を丁寧に把握し、アセスメントに基づいた支援計画の先性・見直しを継続してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			3		モニタリング及び支援計画にて具体的な支援内容を設定しております。ご不明点等ございましたら、お気軽にお申し付けください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1		2		オーダーメイドなプログラムを提供しています。今後も様々な経験につながる療育活動を行ってまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13		4	5	機会は設けて頂いているが、こちらの都合がつかない。	保護者様のご都合に配慮し、日程の調整や情報共有が十分に行えるよう工夫してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20		1	1		ガイドラインに基づきながら児童発達支援計画を作成し、契約時及びモニタリング時にご説明をさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	3	6	ペアレントトレーニング研修会があるなら参加したい。	職員がペアレント・トレーニングの研修を受講したため、今後家族支援プログラムの開催の機会を検討してまいります。また、市内で開催されているペアレント・トレーニングについて、今後も情報提供に努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21			1		今後も連絡帳やLINEを通じて、こどもの様子をきめ細やかに伝えてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	2	1		主に支援後のフィードバック時に、ご相談に応じています。また、子育てに関する助言等の支援を行う場として、面談を設定しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	6	9	兄弟向けイベントがあるならば参加してみたい。	今後、年に1回は、保護者やご兄弟も参加できるイベントを考えてまいります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			3		相談や申入れに対しては迅速かつ適切に対応しています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22				必要に応じて、絵カードやタブレットを用いて視覚支援を行い、意思の疎通を図っています。また、それぞれの子どもや保護者に合わせた情報伝達を工夫して行っています。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		6	今回行いました事業所評価の結果は、ホームページ上に掲示しております。また定期的な通信を発信しています。HPやInstagramの投稿を通じて、活動概要や活動の様子を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22				個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			4	各マニュアルに関しまして、策定しております。また、今後も訓練の実施や周知方法を工夫し、より安全・安心な環境の維持に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			7	業務継続計画（BCP）を策定し、火災・地震・津波・河川の氾濫等の非常災害の発生に備えた訓練を行っています。子どもたちと実際に避難経路を歩き、注意点や危ない場所を一緒に確認しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			1	今後も安全に気を付けて、事故等の防止に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			5	事故等が発生した際には、受診や保護者様への連絡等、迅速に対応してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21			1	皆様安心して通うことができるように、また、お子さんの成長に繋がる支援を提供できるように事業所運営を行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21			1	今後とも、子どもたちが楽しく通所できるように工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			今後ご期待に添えられるよう取り組んでまいります。

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		個別サポート支援 あっぶるきっず		公表日		令和 8 年 2 月 23 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		法令順守し、こどもが安心して落ち着いて療育に取り組める環境整備に努めています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		法令順守しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	階段には手すりを設置し、昇降時のルールを守るよう支援しています。祝日イベント時など2階に上がる必要がない時は、階段前にバーテーションを設置しています。新たに子どもが階段で滑らないように、滑り止めを貼り付けるなどの対応をしています。	階段があるため、車いす利用児童に対するバリアフリー環境の整備が十分に整っていません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃と消毒を行っています。活動に集中できるように、環境設定を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別療育であるため、こどもが安心して落ち着ける居場所づくりを目指しており、個別の部屋で療育を行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		療育終了後に、療育中のこどもの様子、療育での反省点、今後の支援の方針等について職員全員で振り返りを行っております。また各個人のPDCAサイクルを全職員が把握できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年保護者向け評価表の記入をお願いし、結果をホームページに掲載しています。今後も引き続き保護者の意向を汲み取り、より良い支援に繋げていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員は毎年従業者向け児童発達支援評価表を記入し、その内容を受けて業務改善に繋がっています。また朝礼の機会に一日を通しての気づき等を共有し、翌日からの業務改善に繋がっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		現在、第三者による外部評価は行っていません。今後、必要に応じて検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月に一回は法人内研修があり、職員の資質の向上を図る機会を設けています。また、積極的に外部研修・内部研修に参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成し、ホームページにて掲載・事業所内にて掲示を行い、公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		細かくアセスメントを行い、ご本人と保護者のニーズや課題を客観的に分析し、児童発達支援計画を作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援計画を作成する際には、全職員で会議を行い、ご本人のニーズ、課題や強みについて話し合いを行うことで、今後の支援方法について共通認識の下で検討しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		児童発達支援計画は全職員間で共有され、「計画に沿った支援が行えているのか」ということについて、会議で定期的に話し合う機会を設けております。	今後も児童発達支援計画に沿って支援を行ってまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		こどもの適応行動の状況について、発達段階に関するアセスメントシートを使用して確認しています。また、行動観察を行い、一人ひとりの子どもに寄り添った支援を行っております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児童発達支援ガイドラインに沿って、こどもの支援に必要な項目を適切に設定し、ご本人の特性に合わせた具体的な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		日々の朝礼、個別支援計画作成会議等の話し合いの場に職員全員が参加し、活動プログラムの立案をチームで行っています。密に情報を共有し、得られた情報を基に、活動プログラムの検討・改善を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		療育の中で気づきや改善点を職員間で共有し、次の療育に反映させています。また、基本的には個別での療育ですが、週のレクリエーションや祝日イベントを通じて小集団活動を行う機会も設けています。	今後も職員の能力向上に努め、より幅広い活動プログラムを取り入れてまいります。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		基本的には個別療育ですが、週の企画や祝日イベントを通じて集団活動も行っていきます。児童発達支援計画は、集団活動での課題も考慮しながら作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼の際に、その日の支援について全職員で打ち合わせを行い、常にチーム連携を意識しながら支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		「どのような支援を行い、どういった結果だったか」「療育時の子どもの様子はどうか」「今後どのような支援を取り入れるか」といったことについて、職員間で細やかな情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録を取り定期的に見直すことで、こどもの成長や環境の変化に合わせて、支援内容や支援方法を更新しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを実施し、保護者のニーズ・支援記録なども参考に計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		こどもの状況を的確に把握している者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保育園や幼稚園等への送迎の際に、事業所でのこどもの様子について、園の先生方に細やかに共有しています。	関係機関との連携が十分でない点もあるため、今後は関係機関とのさらなる連携強化に努めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		関係機関と連携を図り、併行利用や移行に向けた支援を行っています。また、保育所や幼稚園と支援内容等の情報共有と相互理解を図り、こどもを包括的に支援できるよう体制を整えています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		就学支援シートを作成し、子どもの強みや課題、支援において配慮すべき点等について、小学校との情報共有を図っています。	今後も小学校や特別支援学校(小学部)との間で情報共有と相互理解を図ることができるよう、努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			現在は、地域の児童発達支援センターからスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けることができていません。今後検討してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		地域の中でこどもと活動する機会は設けることができていません。今後地域イベントへの参加等について検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			フィードバックを通じて、事業所でのこどもの様子やご家庭でのこどもの様子について、相互に情報共有を行っております。 中抜けで利用しているこどもについては、保護者との相互の情報共有が難しい部分があります。今後は、より良い情報共有の方法について検討してまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		市内で開催されているペアレント・トレーニングの情報について、LINEを通じて保護者に共有しています。 職員がペアレント・トレーニングの研修を受講したため、今後家族支援プログラムの開催の機会を検討してまいります。また、市内で開催されているペアレント・トレーニングについて、今後も情報提供に努めてまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、契約時に丁寧な説明を行っています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			児童発達支援計画を作成する際には、事前にモニタリングを行い、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			「児童発達支援計画」を示しながら支援内容について説明を行い、保護者からの同意を得ています。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			電話やLINE、対面といった手段で家族等からの相談に応じています。 今後も保護者の相談に丁寧に寄り添い、安心して施設を利用していただけるよう努めてまいります。	

保 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	法人内のイベントの中で、保護者同士が交流する機会を年に1回ほど設けております。	父母の会の活動を支援することや、保護者間の交流の場を十分に設けることはできていません。今後、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会について検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れがあった場合には、迅速かつ適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		保護者に向けて定期的に通信を発行しています。また、Instagramを定期的に更新し、活動の様子を発信しています。	行事予定については、HPやSNS等を通じた発信ができていません。今後はより充実した情報発信ができるよう努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報に記載された書類は、鍵付きロッカーに保管しています。個人情報に記載された廃棄書類等は、シュレッダーを使用して廃棄しています。	今後も個人情報の取扱いに十分留意してまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		ジェスチャーや絵カード等の視覚支援、ルビ振り等を活用しています。子どもや保護者に応じた方法でコミュニケーションを図っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		現在、事業所の行事に地域住民を招待することはできていません。地域に開かれた事業運営を図る取り組みについて、今後検討してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルに関して策定し、内容の見直し、更新を随時行っています。職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画（BCP）を策定し、火災・地震・津波・河川の氾濫等の非常災害の発生に備えた訓練を行っています。子どもたちと実際に避難経路を歩き、注意点や危ない場所を一緒に確認しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に子どもの状況について必ず確認し、全職員が把握しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		エビベン研修を定期的に行っております。食物アレルギーについては、契約時のアセスメントを通じて把握しています。祝日イベント時のクッキングでは、アレルギーに該当するものが材料やおやつに含まれていないかを徹底して確認しています。	今後も、もしもの事態を想定したエビベン研修やアレルギー対応研修を行い、適切な対応を行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、安全管理を十分にした上で支援を行っています。安全管理に必要な研修や訓練を行い、職員は安全計画の内容を定期的に確認しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画策定にかかわる事項についてのお便りを発行し、取組内容について家族等へ周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事例については速やかに報告書を作成し、職員間で共有するとともに、対応策・防止策を話し合い再発防止を図っています。	ヒヤリハット事案に関する情報収集を行い、今後ご利用者様の安全確保を徹底してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止に関するマニュアルを策定し、研修を実施することで、全職員が日々の支援や言動を定期的に見直しています。	研修への参加を継続いたします。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		契約の際には内容を丁寧に説明し、個別支援計画書にて同意を得ています。		